

## 訂正とお詫び

本誌7月号の東海康行氏・特集1「子どもにとって望ましい育ちの場とは」の12ページ・左段・24～30行目に誤りがありました。読者の皆様ならびに東海康行氏に謹んでお詫びし、下記のように訂正いたします。

### 【誤】

とは当然のことながら、職員の健康だと思います。そのための内部コミュニケーションの充実、新任職員でも抱え込みにならないように話せる環境が障害のある子どもの「安心・安全」は、そのような人的・物理的環境の整備が重要であり、ユニットケアは間違いです。子どもへの望ましい環境に近いものとすることも可能となります。“育ち”を考えた時に、子どもの

→

### 【正】

とは当然のことながら、職員の健康だと思います。そのための内部コミュニケーションの充実、新任職員でも抱え込みにならないように話せる環境を作り、そこから子どもの良い育ちになるよう向けることです。障害のある子どもの「安心・安全」は、そのような人的・物理的環境の整備も重要であり、ユニットケアはそういった子どもへの望ましい環境に近いものとすることも可能となります。“育ち”を考えた時に、子どもの